



NIPPON BEARING

## 6月25日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】 スマートホーム市場は2030年には2015年の何倍に？

- ① 2倍    ② 10倍    ③ 30倍

【答え】 ③ 30倍

### 【解説】

スマートフォン、スマートスピーカー、スマート家電等々、語頭にスマートが付くものは、ここ数年で急激に増加しており、私たちの生活に浸透してきました。

中でも、これから大幅に市場規模の増加が見込まれているのが、《スマートホーム》です。

2015年の140億米ドルに対して、2030年には4,050億米ドルと、僅か15年で約30倍もの増加が予想されております。

出典：A.T. カーニー株式会社

《家の中のあらゆるものをインターネットでつないで管理し、より安全・安心・快適な暮らしを実現する住まい》のことを、スマートホームと言います。

スマートホームでは、スマート製品全体がつながり連動することで、その能力を発揮します。

《センサーによる温度管理などの快適さ》《音声による操作の便利さ》《セキュリティ面での安全》《ヘルスケア管理や見守りによる安心の獲得》など、快適な暮らしを実現するための恩恵を数多く受けることができます。

更に、私たちの快適さのみならず、得られたデータの活用や、センサーによる機器の管理を行うことで、《省エネ》に貢献することも可能です。

持続可能な社会の実現に向けて日々進化していく世の中を、スマートに歩んでいきたいものです。

【企画・協力：(株)学研メソッド】